

コード No. 18583

**Anti-Human
Amyloid β (1-43) Rabbit IgG Affinity Purify**容量 : 50 μ g

ロット No. :

はじめに : アルツハイマー病は 1907 年ドイツの神経病理学者 A. Alzheimer によって最初に報告され、現在では老人性認知症の最も大きな原因となっています。アルツハイマー病の脳に多く現れる老人斑はアミロイドベータ(A β)タンパク質によって構成されています。A β は 40~43 アミノ酸からなるペプチドで、 β -および γ -セクレターゼの働きにより、前駆体タンパク質 APP (695, 751 または 770 アミノ酸からなる膜タンパク質)から切り出されてくると言われています。

免疫抗原 : Human Amyloid β 43 の C 端部分合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 50 μ g/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 1~5 μ g/mL にて使用可能使用方法 : ホルマリン固定、パラフィン包埋切片の場合、ギ酸処理*によって染色性が著しく向上します。この時の抗体濃度は 1 μ g/mL をおすすめします。

*ギ酸処理方法 : 脱パラフィン後ギ酸に 5 分間浸漬した後、流水洗浄

: ウェスタン・ブロッティング 5 μ g/mL にて使用可能特異性 : Human Amyloid β (1-43)に特異的に反応Human Amyloid β (1-40)および Human Amyloid β (1-42)には非交差